

淡交カルチャー ガイド

淡交カルチャーだから体験できる
充実の企画!

 **淡交社**
2025年(令和7年)12月発行

2026年
新年号

茶会・ツアー 篇



Instagram



@TANKO_CULTURE

LINE



様々な情報を配信中

Instagramは「フォロー」
LINEは「友だち追加」を
お願いします

京都府知事登録 旅行業第2-549号
禁煙 **淡交カルチャー**
(一社)全国旅行業協会 正会員

目次

CONTENTS

茶会

- 名古屋 神谷柏露軒 喜寿記念
徳川美術館・春來(はるきたる)の茶会 P 2
- 京都 大徳寺塔頭「芳春院」早春の特別茶会 P 3
- 京都 弘法大師千年の祈りに触れる山内ツアー 僧侶による特別解説・案内付
世界遺産東寺 国宝の伽藍めぐりと冬光の茶席 P 5
- 京都 寛永行幸400年
寛永文化を楽しむ茶事茶会 P 7
- 京都 淡交社「龍翔庵」にて 春の茶会 P 8
- 東京 早春の五島美術館 茶の源流をたどる茶会 ～中国陶磁と宋代点茶を楽しむ～ P 9
- 東京 講義＋茶会～茶趣を楽しむ P 11
- 東京 大橋茶寮 小人数で趣向と名品を楽しむ
小寄せ茶会 P 12

ツアー

- 石川 金沢 茶の湯旅～仙叟・玄々齋、金沢ゆかりの地をめぐる～ P 13
- 兵庫 佐山宗準先生同行 又妙齋の足跡を辿る 淡路島編 P 14
- 岐阜 春浅き飛騨高山 宗和流と工芸の美を巡る旅 P 15

特別講習会

- 東京 茶のコト学び座 茶人のための書の習い P 17
- 東京 茶の湯の香 P 18
- 東京 竹芸夏期特別講座
池田瓢阿先生に学ぶ じぶんだけの茶杓・共筒削り P 19
- 東京 陶芸夏季特別講習会
じぶんだけの黒楽茶碗づくり P 19
- 東京 茶懐石の名店をめぐる番外編
和の名店をめぐる 鮎編 P 20
- 京都 千年の味と四季を巡る
京料理の名店を訪ねて P 21
- 東京 ご主人がおもてなし 茶懐石の名店をめぐる P 22

※各ご案内の QR コードから、「予約サイト」にアクセスしていただけます。



徳川美術館茶室「餘芳軒」



山ノ茶屋 外観と茶室

開催地 神谷柏露軒 喜寿記念
名古屋 徳川美術館・春来^{はるきたる}の茶会

古来より全国有数の茶どころとして知られる名古屋において、四代続く茶家・神谷柏露軒。当代の宗銀先生の喜寿を記念した茶会を徳川美術館で開催します。尾張徳川家にちなんだ道具の展観席もふくめ、神谷先生らしい豪勢で華やかな席でおもてなしいたします。ぜひお越しください。

3月31日(火)・4月1日(水)

1席目 9:30 ~ 2席目 10:30 ~ 3席目 11:30 ~

1~3席目 濃茶席→薄茶席・展観席→点心席

4席目 11:30 ~ 5席目 12:30 ~ 6席目 13:30 ~

4~6席目 点心席→濃茶席→薄茶席・展観席



席主 神谷宗銀

※記載の時間は、受付開始時間です
※ご希望の日とお席をお選びください

内容 濃茶席：餘芳軒^{よほうけん}

薄茶席・展観席：山ノ茶屋

点心席：宝善亭

鑑賞：特別展「尾張徳川家の雛祭り」
企画展「金沢文庫本～流離う本の物語～」(自由鑑賞)

※茶室「餘芳軒」と「山ノ茶屋」はどちらも国の登録有形文化財

参加費 33,000円(税込)

定員 12名(各席)

会場 徳川美術館(名古屋市東区徳川町)

※現地集合、解散



徳川園黒門



宝善亭 点心(イメージ)



茶室「落葉亭」内観



円山伝衣和尚による扁額「落葉亭」



茶室「落葉亭」外観

開催地

京都

大徳寺塔頭「芳春院」 早春の特別茶会

大徳寺塔頭 芳春院は1608年（慶長13年）に前田利家の夫人・松（芳春院尼）が玉室宗珀を開山として建立されました。1796年（寛政8年）の火事により建物が焼失した際も前田家11代・治脩によって再建され、その後明治維新の混乱期に廃仏毀釈に巻き込まれて堂宇の大半を失う悲運にあうなどしましたが、1875年（明治8年）に復興され現在まで護持されています。二畳二台目下座床の茶室「落葉亭」は、昭和初年に裏千家の出入方として数寄屋工の仕事に従事した岡田永齋が建てた数寄屋建築と伝えられており、貴人口の上部には円山伝衣和尚による扁額が掛けられています。床柱には当時の朱書が残されているなど各所に見どころがあり、水屋や天井の細部に至るまで、茶の湯における永齋の工夫が凝らされています。

寒さが身にしみる如月、「落葉亭」「迷雲亭」それぞれに趣の異なる茶室にて、枯淡の庭に冬の光が差し込むような心温まる一会を、席主・飯島宗照先生の茶室解説とともにお楽しみください。



春湖閣

2月21日(土)・22日(日)

1席目 9:00 ~ 2席目 10:00 ~ 3席目 11:00 ~

1 ~ 3席目 茶席→点心席(集合:芳春院、解散:たん熊北店本店)

4席目 11:00 ~ 5席目 12:00 ~ 6席目 13:00 ~ 7席目 14:00 ~

4 ~ 7席目 点心席→茶席(集合:たん熊北店本店、解散:芳春院)

※ご希望の日とお席をお選びください



席主 飯島宗照(茶室建築家)

参加費 48,000円(税込) 定員 6名(各席)

内容 茶席:大徳寺塔頭 芳春院(通常非公開)
点心席:たん熊北店本店

会場 大徳寺塔頭芳春院(京都市北区)
たん熊北店本店(京都市中京区)

※現地集合、解散

※芳春院とたん熊北店本店間はハイヤーで送迎いたします



国宝 五重塔



国宝 金堂



重要文化財 講堂

開催地

京都

弘法大師千年の祈りに触れる山内ツアー

僧侶による特別解説・案内付 世界遺産東寺 国宝の伽藍めぐりと冬光の茶席

世界遺産の東寺は真言密教の根本道場として歴史を紡いできた寺院であり、五重塔は京都のシンボリックな存在です。冬の空気が澄み渡る頃、千年の時を刻む東寺の伽藍は、静寂の中に一層の威厳を湛えます。

国宝五重塔と金堂、重要文化財講堂、東寺の精髓ともいえる3つの通常内部非公開の伽藍を、僧侶の案内で特別に解説をしていただきながら巡る、80分のツアーです。

山内ツアーの前には、襖絵師浜田泰介氏によって描かれた襖絵を有する観智院書院にて茶席もお楽しみいただき東寺の魅力を満喫していただけます。

凜とした空気の中に漂う香煙、仏のまなざし、千年の祈りに触れる贅沢なひとときをご堪能ください。



立体曼荼羅

立体曼荼羅

密教を伝え広めるために建立された講堂。その教えを、視覚的に表した立体曼荼羅は、弘法大師空海の手によるものです。仏像21体中、16体は国宝となっています

近又

江戸時代享和元年（1801年）創業の老舗料亭。明治に建てられた典型的な町家造りの建物は、2001年3月に文化庁による「国の登録有形文化財」に登録されました



点心席 近又



観智院



観智院 書院



観智院 楓泉観

※ツアー行程には含まれませんが、ご希望の方は茶席・ツアーの前後に観智院内も拝観頂けます

2月1日(日)・11日(水・祝)

1席目 9:00 ~ 2席目 10:30 ~ 3席目 12:00 ~

茶席→ツアー→点心席(集合:教王護国寺 観智院、解散:近又)

※ご希望の日とお席をお選びください

席主 田中宗恵

内容 茶席:真言宗総本山 教王護国寺 観智院
東寺山内特別拝観ツアー:五重塔、金堂、講堂をご案内
点心席:近又

参加費 30,000円(税込) 定員 20名(各席)

会場 真言宗総本山 教王護国寺 東寺(京都市南区)

※東寺と点心席(近又)間はマイクロバスにて移動予定です

※点心席終了後、現地にて解散。ご希望の方は、京都駅または東寺までご送迎いたします

※代金や表示されている時刻、情報は2025年11月時点のものです。変更になる事もございますので、最終(確定)書面にて必ずご確認ください





峰玉亭書院



しょうざんリゾートの広大な庭園

開催地

寛永行幸400年

京都

寛永文化を楽しむ茶事茶会

1600年代、寛永の時代、京都を中心に華やかな文化が展開されました。その中心人物には、絵師の狩野探幽・俵屋宗達や、寛永三筆と称される本阿弥光悦・松花堂昭乗・近衛信尹などがいます。とくに本阿弥光悦は徳川家康から拝領した洛北鷹ヶ峯の地で、独自の美意識に基づく芸術村を築き、傑作を次々と生み出しました。今回は光悦村の跡地にあり、しょうざんリゾートが所有する35,000坪の庭園内の非公開茶室で、寛永文化に思いを馳せ、光悦が紡いだ芸術村の歴史に触れる少人数の特別な茶会を、現代の数寄者・筒井如是庵氏におもてなしいたごき、開催します。



3月12日(木)・13日(金)

1・2席目 8:40 ~、3・4席目 10:40 ~、5・6席目 13:10 ~

1・3・5席目は「濃茶席→薄茶席→点心席」

2・4・6席目は「薄茶席→濃茶席→点心席」の順にご案内いたします

※ご希望の日とお席をお選びください

席主 筒井如是庵(数寄者・茶道研究家)

内容 濃茶席：玉庵

薄茶席：峰玉亭 書院

点心席：峰玉亭 広間(料理：三友居)

※一汁三菜の懐石でおもてなしいたごき(仕立は三友居)

参加費 53,000円(税込)

定員 8名(各席)

会場 しょうざんリゾート(京都市北区)

※各席とも淡交社(京都市北区)集合・解散となり、当社と会場の間はマイクロバスで移動いたします(所要時間：約10分)

※上記時刻は当社からの出発時刻です。当社を出発してから解散までの所要時間はおよそ4時間となります



茶室「玉庵」



峰玉亭



料理：三友居

※料理の写真はイメージです



淡交社 茶室「龍翔庵」



開催地

淡交社「龍翔庵」にて

京都

春の茶会

淡交カルチャー教室「花月入門教室 花クラス」「初心者のための花月ビギナークラス」の講師としてお馴染みの吉岡宗直先生によるおもてなしの茶会です。教室をご受講でない方でもどなたでもご参加いただけます。和やかな雰囲気のもと、吉岡先生とのひとときをお楽しみください。

2月27日(金)

1席目 10:00 ~ 2席目 14:00 ~

※ご希望のお席をお選びください



席主 **吉岡宗直**

参加費 **24,000円(税込)** ※点心付

定員 **10名(各席)**

会場 **淡交社 茶室「龍翔庵」**(京都市北区)

吉岡宗直 プロフィール

奈良県生まれ。裏千家直門志保会会員、奈良市立一条高等学校茶道部講師。2014年から淡交カルチャー花月入門教室花クラス講師森田宗園氏の助手を務め、現在は同クラスの他、初心者のための花月ビギナークラスの講師を兼任





青磁茶入 越窯 五代時代



黒釉水指 磁州窯 金時代



興州赤絵鉢 漳州窯 明時代



影青茶碗 景德鎮窯 南宋時代

開催地

東京

早春の五島美術館

茶の源流をたどる茶会

～中国陶磁と宋代点茶を愉しむ～

中国から伝来した茶は、日本で花開き独自の発展を遂げて茶道となりました。今回、中国陶磁を取り合せた濃茶席と現代の薄茶に通ずる宋代の点茶体験とで歴史を感じていただく茶会を早春の五島美術館で開催いたします。濃茶席の席主には中国陶磁に造詣の深い小澤宗誠氏を、中国宋代の茶席は中国茶や中国香を教える鄭燕氏を迎えます。

同時期開催の「中国の陶芸展」鑑賞とあわせて、悠久な茶の歴史に触れてみませんか。

2月22日(日)・23日(月・祝)

1席目 9:40～ 2・3席目 10:30～ 4・5・6席目 11:20～



※ご希望の日とお席をお選びください

1席目 宋代茶席→濃茶席→点心席→展覧会解説

4席目 展覧会解説→濃茶席→点心席→宋代茶席

2席目 濃茶席→点心席→展覧会解説→宋代茶席

5席目 宋代茶席→点心席→濃茶席→展覧会解説

3席目 宋代茶席→展覧会解説→濃茶席→点心席

6席目 点心席→宋代茶席→濃茶席→展覧会解説



宋代茶席（鄭燕氏）

鄭燕（ていえん）氏プロフィール
 浙江省天台県出身。2007年に来日。中国政府認定中国茶芸師・中国香芸師。中国茶や中国香について講義を行うほか、中国茶芸や香芸の実演も行っている。中国の「雅」文化を伝える、雅文化学院主宰
 『なごみ』2025年7月号にご登場



三友居 点心

※料理の写真はイメージです



五島美術館 茶室「古経楼」



「富士見亭」より外を望む

五島美術館

五島美術館は、東京急行電鉄を創設した実業家・五島慶太（雅号「古経楼」）の美術コレクションを保存展示するため1960年（昭和35年）の美術コレクションを保存展示するため1960年（昭和35年）開館した。所蔵品は日本・東洋の古美術を中心に国宝5件、重要文化財50件を含む約5000件にのぼり、その中でも国宝『源氏物語絵巻』（益

田鈍翁旧蔵）は有名。約6000坪になる敷地内には吉田五十八設計の本館が立ち、背後に武蔵野の面影を残した広大な「見晴台庭園」が広がる。庭園の中に田健治郎の旧宅である茶室「古経楼」や立礼席「富士見亭」（共に通常非公開）がある

席主 **濃茶席** 小澤宗誠
宋代茶席（指導） 鄭燕

参加費 **31,000円**（税込）

定員 **10名**（各席）

内容 **濃茶席** 古経楼
宋代茶席（体験） 富士見亭
点心席 三友居

会場 **五島美術館**（東京都世田谷区）
 東急大井町線（各駅停車）「上野毛駅」徒歩5分
 東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」より
 タクシー約10分
 ※現地集合、解散

企画展「中国の陶芸展」
学芸員による解説と自由鑑賞
 ※茶室「古経楼」と「富士見亭」はどちらも国の登録有形文化財

開催地

東京

講義＋茶会 ～茶趣を愉しむ

折々の趣向の講義を通して学び、その趣向の茶会をお楽しみいただきます。講義を経ることで、席中にてお道具の取り合せを発見でき、より理解を深めることができます。

今期も引き続き「折々の茶趣」をテーマに開催いたします。

年の初めに	2月1日(日)
吉野と桜	3月29日(日)
風薫る季	5月31日(日)
名水点	7月26日(日)
秋月の茶	9月27日(日)
陰陽五行	10月25日(日)



1席目 10:00 ～ (茶席→講義→点心)

2席目 11:00 ～ (講義→点心→茶席)

※ご希望の日とお席をお選びください

※6回すべてにお申し込みの方は会費を1割引きいたします(全6回分を前納)



講師/席主 藤井宗悦・宗文

参加費 各会 24,000円(税込) ※点心代含む

定員 10名(1席)

会場 淡交社茶室「慶交庵」および東京教室



開催地

東京

大橋茶寮 小人数で趣向と名品を愉しむ

小寄せ茶会

梅見の茶会

所蔵の名品にての梅見の会

2月15日(日)

定員 6名(1席)

参加費 28,000円(税込)

名残りの茶会

侘びの風情、聚楽風炉にて

10月18日(日)

定員 8名(1席)

参加費 28,000円(税込)

大橋茶寮

淡々齋宗匠により東京での道場にもされる。国宝如庵を模した茶室、不昧公好「守貧庵」、咄々齋を模した「葵」、桂離宮意匠の「桂」や「山吹」を有する登録有形文化財の茶室群

1席目 10:00 ~ 2席目 11:30 ~
3席目 12:15 ~ 4席目 13:45 ~

(1・2席目 茶席→点心席 / 3・4席 点心席→茶席)

※ご希望の茶会とお席をお選びください



席主 松藤宗萌 (大橋茶寮)

会場 大橋茶寮 (東京都港区)

東京メトロ日比谷線「神谷町駅」より徒歩5分
東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」より徒歩8分
JR東京駅よりタクシー 14分



好古庵



月心寺

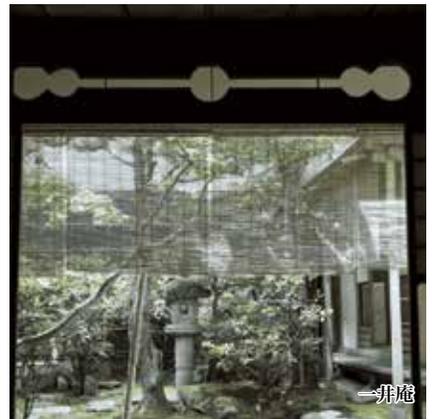
開催地 石川 **金沢 茶の湯旅**
 ～仙叟・玄々齋、金沢ゆかりの地をめぐる～

加賀百万石の城下町・金沢には、仙叟から玄々齋、そして現代へと連なる裏千家ゆかりの茶の湯文化が、今も息づいています。受け継がれてきた茶の心にふれながら、金沢ならではの奥深い茶の湯の世界をお楽しみください。

追加日
3月17日(火)・3月18日(水) 日帰りツアー

参加費 **60,000円** (税込)

定員 **20名** (最少催行人員15名 添乗員同行)

一井庵

〈内容〉

10:00 JR金沢駅 集合・出発

仙叟宗室居士墓所 月心寺

- ・仙叟宗室居士お墓参り
- ・勝田敦玄副住職のお話「月心寺と玄々齋」

料亭 大友楼 天保元年創業の老舗料亭

- ・奈良宗久業跡との昼食会
- ・茶室「一井庵」見学
- 加賀藩の茶道教授所として使用され、玄々齋が金沢で逗留された際に訪れた湯川家の茶室

仙叟宗室居士邸跡 好古庵

奈良宗久業跡

- ・ツアー参加者のための金沢ゆかりの道具による特別茶席
- ・お話「裏千家と金沢の茶の湯」
- ・茶室「好古庵」「仙叟堂」見学

吉はし菓子店 お買い物(ご予約)

16:30頃 JR金沢駅到着後、解散

※ツアー中は貸切バスでの移動します ※料理の写真はイメージです
 ※こちらのツアーは売上げの一部を「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」に寄付をさせていただきます



大友楼 食事

開催地

兵庫

佐山宗準先生同行

又妙齋の足跡を辿る 淡路島編

侘びの心と共に茶の湯の文化を広めた又妙齋が、堺より西行し淡路島で結んだ茶の縁を佐山宗準先生と巡ります。淡路島の風土に育まれた和菓子、器、香と茶の湯を支える文化に触れ、又妙齋の指導により建てられた伊弉諾神宮の茶室「明日庵」を拝見し一服の呈茶をいただきます。茶の湯の振興に努めた又妙齋の教えと、神話にも登場するこの島の文化を深く探求する特別ツアーです。

1月29日(木) 日帰りツアー

参加費 42,000円(税込)

定員 15名(最少催行人員10名 添乗員同行)



〈内容〉

9:30 新神戸駅 出発

長手長栄堂

淡路島で発見された固有種、淡路島なるとオレンジを砂糖漬けにし、チョコレートでくるんだ銘菓「あわじオレンジスティック」を販売
・お買い物

Awabiware

賀集珉平が創業し、江戸後期から明治期に栄えた珉平焼。その制作スタイルに着想を得て、日常で使える焼き物を制作販売
・珉平焼のご解説 ・お買い物

昼食

伊弉諾神宮

古事記や日本書紀にもその歴史が残され、日本で最初の夫婦「イザナギノミコト・イザナミノミコト」の二神を祀る日本最古の神社
・正式参拝 ・又妙齋が指導した茶室「明日庵」見学
・香甌亭にて呈茶

薫寿堂

「淡路島の海に沈香の木が漂着し、薪として燃やしたところ素晴らしい香りがたちこめたため帝に献上した」と日本書紀に記述される香発祥の淡路島の地で、130年以上の歴史を持つ老舗香店
・香製作のお話 ・お買い物

17:00頃 新神戸駅到着、解散

※2025年12月時点の行程となります。変更の可能性がございますことをご了承ください
※ツアー中は貸切バスでの移動となります



薫寿堂



長手長栄堂



Awabiware



伊弉諾神宮



御多き料理

開催地

春浅き飛騨高山

岐阜

宗和流と工芸の美を巡る旅

優美な茶風で知られる武家茶人・金森宗和の故郷として、繊細な匠の文化が根付く飛騨高山地方。その美意識は、宗和流の茶道をはじめ、茶席を彩る飛騨春慶塗や渋草焼、精緻な飛騨一刀彫など、今なお地域全体に息づいています。

本ツアーでは、宗和流の雅な本膳料理と呈茶を通してその繊細さを体験し、また磁器の生産地やかつての民家を巡ることで用の美を支える堅牢な職人の技に触れていただきます。

宗和流、そして実用性を極めた器や道具に宿る、飛騨独自の静かな美しさを心ゆくまで堪能ください。

3月24日(火)～25日(水) 1泊2日



参加費 120,000円(税込) ※大人1名様料金(2名1室) ※1名1室利用をご希望の方は加算料金をいただきます

定員 20名(最少催行人員12名 添乗員同行)

食事 朝1回 昼2回 夕1回



芳国舎 水指



芳国舎 下絵付



福寿漆器店



福寿漆器店 店内

〈旅程〉 ※ツアー中は貸切バスで移動します

1日目

9:30 名古屋駅 出発

重要文化財 料亭洲さき

金森宗和から始まる本膳料理を受け継ぐ老舗料亭

- ・宗和流本膳崩をご賞味
- ・ご当主のご解説(宗和流本膳、飛騨高山地方の風習について)
- ・宗和流の呈茶

福寿漆器店

木目の美しさをそのまま活かした、透明感のある飛騨春慶塗。木地づくりと塗りに分業され、それぞれの職人の熟練した手によって完成した品物を販売

- ・飛騨春慶塗のご解説
- ・お買い物

下呂温泉 水明館

昭和7年創業の老舗旅館。三つの大浴場があり、館内で湯めぐりが楽しめる

- ・夕食 宴会場にて飛騨牛をメインとした和食懐石
- ・宿泊



洲さき



目下部民芸館



水明館 下留の湯

2日目

下呂温泉 水明館

- ・朝食

洪草焼 窯元 芳国舎

肥前、九谷、瀬戸等より職人を招き、洪草調と呼ばれる華やかで格調高い飛騨の磁器を販売

- ・洪草焼のご解説
- ・工房見学
- ・お買い物

昼食 ひだホテルプラザ

さらりとした脂身が特長の結旨豚をご賞味

重要文化財 目下部民芸館

高山の豪商として栄えた目下部家の邸宅として明治12年に建てられた、江戸時代の建築技法を活用した木造民家。明治以降の町家建築としては初めて重要文化財に指定された

- ・見学
- ・建築と当時の暮らしのご解説

17:00頃 名古屋駅到着、解散

※2025年12月時点の行程となります。変更の可能性がございますことをご了承ください



水明館 野天風呂



開催地

茶のコト学び座

東京

新企画

茶人のための書の習い

手紙や茶会記など、茶人に欠かせない「書」に焦点を当てた講座を開催いたします。

ひらがなの基本から美しい筆遣いを身につけ、茶の湯にふさわしい書の所作を磨きます。

講師は、NHK大河ドラマ『光る君へ』で題字揮毫および書道指導を務めた書家・根本知先生。楷書・行書・仮名を深く学び、書の奥深さと茶の湯の心を、筆を通して感じてみませんか。



根本知氏プロフィール

書道家・博士(書道学)

立正大学 文学部特任講師。NHK大河ドラマ「光る君へ」題字揮毫・書道指導。雑誌『なごみ』(淡交社)「書は人につれ」連載中

〈内容〉 4回講座

2月12日(木) 美しく書く楷書の法則

2月26日(木) 美しく書く行書の法則

3月5日(木) ひらがなの基本とつづけ方

3月26日(木) 茶の湯の手紙と茶会記

13:30 ~ 15:30 呈茶付き

講師

根本知

参加費

1回 13,200円(税込)

※会費は全4回分を前納

定員

20名

定員

淡交社 東京教室





開催地

東京

新企画 茶の湯の香

今回の特別講習会では「香」の専門家の山田松香木店・大杉直司氏を講師に迎え、茶の湯に息づく「香」の文化と歴史をたどります。実践では茶室での香炉の扱いと所作を学び、茶席にふさわしい自分だけの煉香を調えつつ、香の奥ゆかしい世界に触れていただきます。



3月10日(火)

午前クラス 10:00 ~ 12:00

午後クラス 13:30 ~ 15:30



講師 大杉直司(山田松香木店)

内容
(予定) 聞香の作法
七事式(花月)における香の扱い
茶席に合う煉香づくり体験

参加費 9,900円(税込)

※別途材料費がかかります。3,300円(予定)

定員 12名(各クラス)

会場 淡交社 東京教室

※こちらの特別講習会は、2026年4月に京都教室でも開催する予定です

開催地

竹芸夏期特別講座

東京

池田瓢阿先生に学ぶ じぶんだけの茶杓・共筒削り

茶人が手すさびにつくる「茶道具」の代表格、茶杓——作り手の人柄や手のぬくもり、また美意識を伝えてくれます。今回、弊社竹芸教室でもおなじみ池田瓢阿先生の指導で、先生所有の名茶杓を鑑賞しつつご自分だけの茶杓と共筒を削っていきます。また特別に共筒の書付を瓢阿先生にさせていただきます。

この夏、あなただけの茶杓をつくってみませんか？



8月30日(日)

午前クラス 9:30 ~ 12:30

午後クラス 13:30 ~ 16:30



講師 池田瓢阿 (竹芸家 / 竹楽会主宰)

参加費 13,200円 (税込) ※別途材料費がかかります

定員 12名 (各クラス)

会場 淡交社 東京教室



池田瓢阿氏プロフィール

1951年東京生まれ。
初代が益田鈍翁より「瓢阿」の号を賜り、同じく鈍翁より薫陶を受けた二代目のもとで時代籠の名品の復元に努め今日に至る。1993年三代目瓢阿を襲名。2018年MIHO MUSEUMにて開催された「百の手すさび 近代の茶杓と数寄者往来」展の監修を手掛ける。現在は自ら竹芸教室を運営する傍ら、淡交カルチャー、NHK文化センター、朝日カルチャーセンターなどで講師をつとめる。おもな著作に『茶の竹芸 籠花入と竹花入』『近代の茶杓～数寄者たちの優美な手すさび展図録』（いずれも淡交社刊）など

開催地

陶芸夏季特別講習会

東京

じぶんだけの黒楽茶碗づくり

黒楽茶碗は一人の作者が手びねりで形をつくり分業制をとらないため、個人の嗜好や思想、感性が明確に表れるやきものと言えます。

そんな黒楽茶碗の成形と削りの体験を原宿・日本陶芸倶楽部にて行います。

掲載写真以外でも馬盥形や筒形、名碗の写しなどお好みの形で作っていただけます。



8月2日(日)・9月6日(日) 2回講座

10:00 ~ 13:00



講師 筒井伸哉 (日本陶芸倶楽部)

参加費 37,000円 (税込) ※茶碗一碗焼成費含、送料別途

定員 10名

会場 日本陶芸倶楽部 (原宿・東郷神社内)

日本陶芸倶楽部プロフィール

財界人で茶人の松永安左エ門氏(雅号:耳庵)を初代会長に、哲学者で茶人の谷川徹三氏を初代理事長に迎え、誰でもが陶芸を学ぶことができる場所と良き指導者を提供し、「アマチュア陶芸の振興と普及」を目的として、1967年(昭和42年)5月に発足。陶芸の魅力に引き込まれ、創造する喜びを求めて人々が集い、今日まで多くのアマチュア陶芸家が誕生している



開催地

東京

茶懐石の名店をめぐる番外編

新企画

和の名店をめぐる 鮭編

「吟味した旬の素材」と「丁寧な仕事」を大切にする和食。今回は東京・永田町で予約の取れない店として名高い名鮭店の主人からお話を伺います。至福の味を堪能しながら、学びのある特別なひとときをお楽しみください。

4月20日(月)

11:00 ~ 13:00 ※実習はおこないません



講師 豊本誠(鮭 誠虎主人)

内容 講義とお食事

- 講義
- ・鮭について
 - ・ふわっと口の中でほどける極上の酢飯
 - ・柔らかく上品に仕上げる干瓢

会費 23,000円(税込)

定員 8名

会場 鮭 誠虎^{まこと}(東京メトロ「永田町駅」から徒歩3分)



豊本誠氏プロフィール

18歳より16年間有名店で鮭職人として修行した後、銀座の日本料理屋で2年間日本料理を学び独立。永田町で一級品にこだわり、おもてなしをする主人



竹茂楼本店



閑臥庵



開催地

千年の味と四季を巡る

京都

京料理の名店を訪ねて

古都京都にて、今日まで脈々と受け継がれてきた格式高く歴史ある京料理の名店。本講習会では京都の誇る名店を厳選して巡り、お食事をお召し上がりいただきながら、各店のご主人による素材へのこだわりや茶懐石へのヒント、そして京料理に込められたおもてなしの心についてのお話を伺います。お料理に込められた物語に触れ、一品一品が織りなす奥深い世界を五感でお楽しみください。

1月13日(火)・14日(水) ※ご希望の日をお選びください

12:00 ~

会場 竹茂楼本店(京都市左京区)

内容 川魚料理の妙/川魚料理

参加費 1回 28,000円(税込)

定員 15名(1回)



3月3日(火)・4日(水) ※ご希望の日をお選びください

12:00 ~

会場 閑臥庵(京都市北区)

内容 普茶料理の工夫/普茶料理

参加費 1回 28,000円(税込)

定員 15名(1回)

※料理の写真はイメージです



懐石 一文字



懐石 龍雲庵



木挽町大野



三友居



懐石 山よし

開催地

東京

ご主人がおもてなし

茶懐石の名店をめぐる

東京の茶懐石料理店をめぐる。それぞれの主人から下ごしらえ、お出汁のひき方のコツ、折々の旬の食材のお話などを伺いながら茶懐石の名店のお料理をお楽しみいただきます。

〈内容〉 5回講座

火曜日

水曜日

第1回	2月24日	2月25日	懐石 一文字(神楽坂)	廣瀬和彦	弥生の茶懐石
第2回	4月21日	4月22日	懐石 龍雲庵(御茶ノ水)	後藤紘一郎	初風炉の茶懐石
第3回	6月16日	6月24日	木挽町大野(四谷)	大野友之	江戸懐石の味噌汁
第4回	8月4日	8月5日	三友居(高輪)	黒木純一	朝茶事の懐石
第5回	10月13日	10月14日	懐石 山よし(麴町)	山下和嘉	お月見の椀種

11:00 ~ 14:00

入会費 要

参加費 1回 22,000円(税込)
※会費は全5回分を前納

定員 8名

会場 各店舗
※実習はおこないません



ご利用案内

ご参加について

- 表示金額は消費税を含んでおります。
- 会費はすべて前納制です。

お申し込み後のキャンセルについて

○茶会・特別講習会

開催日の前日から起算	ご返金額
1ヶ月前までのキャンセル	全額返金*
14日前までのキャンセル	会費の50%を返金
13日前から当日のキャンセル	ご返金できません

*キャンセル処理に伴う事務手数料を頂戴します。
(ご入金いただいていない場合も事務手数料のご請求をさせていただきます)

○ツアー 取消料(おひとり)

開催日の前日から起算	日帰り旅行以外	日帰り旅行
21日前に当たる日以前の解除	無料	無料
20日前に当たる日以降の解除	旅行代金の20%	無料
10日前に当たる日以降の解除	旅行代金の20%	旅行代金の20%
7日前に当たる日以降の解除	旅行代金の30%	旅行代金の30%
旅行開始の前日の解除	旅行代金の40%	旅行代金の40%
旅行開始の当日の解除	旅行代金の50%	旅行代金の50%
旅行開始後の解除、または無連絡不参加	旅行代金の100%	旅行代金の100%

お問い合わせ・アクセス

CONTACT

淡交社 文化事業部 [京都]
〒603-8588
京都市北区堀川通鞍馬口上ル
Tel: 075-432-4090
Fax: 075-432-0850
E-mail: cul_kyoto@tankosha.co.jp



ACCESS

- ・地下鉄烏丸線
鞍馬口駅下車 2番出口より徒歩10分
- ・市バス(9・12・67系統)
堀川鞍馬口駅下車 バス停正面

※駐車場はありません。
お車でのご来場はご遠慮ください。

CONTACT

淡交社 文化事業部 [東京]
〒162-0061
東京都新宿区市谷柳町39-1 菅屋ビル
Tel: 03-5379-3227
Fax: 03-5269-7266
E-mail: cul_tokyo@tankosha.co.jp



ACCESS

- ・地下鉄都営大江戸線
牛込柳町駅下車 東口より徒歩3分
- ・都バス(白61・飯62・橋63系統)
牛込柳町駅前下車

※駐車場はありません。
お車でのご来場はご遠慮ください。

個人情報について

お預かりする個人情報は、お申し込みいただいた講座の案内状、講習費お支払いの確認などの連絡、および当社の商品案内・企画案内をお送りするためのみに利用し、その目的以外での利用はいたしません。個人情報に変更が生じた場合は、速やかに当社までご連絡ください。

営業時間・定休日について

- 営業時間：
平日(月～金) 9:00～17:00
- 定休日：
土・日・祝日・年末年始・夏季休暇
- 「淡交カルチャー予約サイト
(<https://www.culture.tankosha.co.jp>)」
でのご予約は年中無休、24時間受け付けております。(サーバーメンテナンス期間除く)

- 体調不良のお客様は、ご参加をお控えください。
- ご参加の前に、手洗いや消毒をお願いいたします。
- 濃茶の飲み直し、懐石の取り直し等は控えていただく場合がございます。